社会福祉法人青い鳥福祉会　障害者支援施設あかつき園
2025(令和7)年度 第１回 地域連携推進会議
議事録

１．日時　　2026 (令和 8)年２月 26 日(木)　９時 30 分～11 時 30 分

２．場所　　あかつき園　居住棟別棟内の食堂

３．出席　　利用者代表　３名

利用者家族　１名

地域関係者　２名(上郷地区会長、吉庚地区会長)

市町村担当　１名(東松山市障害者福祉課主任)

福祉、経営に知見のある者　１名(東松山特別支援学校進路指導担当)

あかつき園　３名(施設長、サービス管理責任者２名)

４．資料の内容

１．オリエンテーション

（1）地域連携推進会議について

①地域連携推進会議が義務化された背景

②対象となる事業

③令和７年度より義務化

④重要性

（2）自己紹介

（3）日程の確認

２．利用者による『願い』の発表

３．社会福祉法人青い鳥福祉会の概要

（1）法人の理念

（2）運営方針

（3）支援目標

（4）法人の沿革

（5）法人の事業内容

４．施設等地域の連携およびサービスの透明性・質の確保

（1）「障害」について

（2）あかつき園の概要について

①事業内容

②事業継続計画(BCP)

③現況報告　職員体制 利用者の年齢層 障害支援区分 療育手帳判定 障害状況

④あかつき園の一日

⑤地域交流

⑥令和６年度事業報告・令和７年度事業計画

5. 利用者の権利擁護

（1）苦情、虐待、事故報告関係

①苦情解決体制

②虐待防止体制

③園内で発生した主な事故　苦情案件、虐待案件

（2）成年後見制度利用状況

6. 事業所内視察

7. 質疑応答・意見交換

他資料：福祉サービス利用手続きの流れ　障害者支援施設・共同生活援助の違い

障害者虐待防止法とは　障害者虐待チェックリスト　令和６年度決算総括書

令和６年度決算書　施設だより「心の扉 120 号・122 号」

【議事録】

1. 開会、あいさつ

開催主旨を説明

日程の確認

管理者挨拶

利用者３名より特技を披露

2. 出席者より自己紹介

3. 内容

（1）青い鳥福祉会、あかつき園の概要説明

・法人設立の経緯、あかつき園開所当初の様子を説明

・施設運営について(利用者数、入所部、通所部、送迎のこと、日中活動)報告

（2）施設等地域の連携およびサービスの透明性・質の確保

・障害者手帳、療育判定、知的障害について説明

・あかつき園駐車場を開放したスリーデーマーチ参加者への接待の報告

（3）利用者の権利擁護

・園内で発生した虐待案件の報告

（4）事業所内視察

・女性の居住棟 1 階・2 階を視察。クッションフロアの使用、1 階に設置している機械浴、各ユニットのキッチン、トイレ、洗濯場、共有スペースについて、ユニットごとの特徴等を説明。

・通所部は精米作業、室内の各班の様子を視察。

・屋外の作業班について、雨天のため、テラスから作業内容を説明。

（5）質疑応答・意見交換

①質疑応答

Q：洗濯物はどのように行っていますか?

A：各ユニットに洗濯機数台、乾燥機数台設置し、職員が主に行っています。

Q：コロナ時の対応について、管理（防ぐこと）は難しかったのではないでしょうか?

A：ユニット内でのゾーニング、職員の対応、利用者の方の様子について説明。防ぐことはとても困難だった。

Q：視察の中で、廊下が広いと感じました。基準はありますか？

A：基準があり、設定された基準を満たすことが必要。

Q：厨房の温冷庫機能付きの配膳車の使用について

A：配膳車は通常のものだが、温冷庫を設置しており、併用している。

Q：説明の中で活動の話しがありましたが、どのような位置付けで行っていますか？

A：作業自体は 1 時間程度です。入所部は入浴等生活の場としての日課が多くあるため、作業自体の時間は短くなっています。通所部は午後も活動の時間となっているため、やや長めになっています。

Q：外に出る時間はありますか？

A：散歩を積極的に行うようにしています。特に入所部の仲間は、1 週間ほどの入院でも筋力が著しく低下し車椅子になってしまう方もいます。あかつき園周辺は立地的に、傾斜が良い運動にもなるので、積極的に行っています。

Q：収支報告を見ると、結果的に黒字となっているので経営的に成り立っているということですか？

A：支出の中で一番大きいのは人件費です。そのため、採用の調整をすることがあります。

Q：この辺りは水が溜まりやすい場所もあり、特にゴルフ場からの水が流れてくると思うのですが、大丈夫ですか？

A：隣接する道路が冠水するような場面はほとんどありません。土砂災害警戒区域になっているため、定期的に東松山市危機管理課が主となり避難訓練を実施しています。その際は、地域の消防団の方も参加し一緒に訓練を行っています。

②意見交換

〈地域関係者より〉

・職員の使命感が必要な職種と感じており、とても大変な仕事と思います。

・高齢者の施設も含め、このような施設は初めて視察した。視察時にコロナ対応の話しも聞いたが、コミュニケーションが難しい方たちを相手にしているということもあり、とても大変と感じました。

〈市町村担当より〉

・地域連携推進会議が義務化された経過としては、特にグループホームの施設運営の透明化を図ることが目的とされた経過があります。市内でも入所施設は 3 か所、グループームは 50 か所あります。様々な運営母体があるため、外からの目を入れることで実態を確認する目的があります。

・視察の中で、利用者の方の笑顔をたくさん見ることができ、のびのびとされている様子を見ることができたことがとても良かったです。

〈福祉、経営に知見のある者より〉

・特別支援学校を卒業した方と会うことができました。言葉ではない表情等でのコミュニケーションで相手の方も覚えてくれていたことを感じ取ることができて、とても安心しました。また、虐待通報があり虐待が行われたと判断されたことの報告もあり、透明性に努力されていると感じました。今後、経験の浅い教職員向けの研修などについても、機会があればご相談させていただきたいと思います。

〈利用者家族より〉

・保護者の立場として、地域の方には長年本当にお世話になり感謝しています。あかつき園は閉鎖的な施設ではなく、とても民主的な施設ということを保護者の立場から伝えたいです。自分の子は帰省すると、夕方にはあかつき園に帰ると言います。ここが終の棲家、自分の家だと認識しているのだと感じています。

以上

令和７年度　嵐山四季の家　地域連携推進会議　議事録

日時　令和８年１月29日（木）　14:00～15:30
場所　障害者支援施設嵐山四季の家　大食堂
出席者　　嵐山町福祉課　課長様
　　社会福祉法人昴　デイセンターウィズ　施設長様
　　地域住民　　１名　（ご家族の体調不良のため、欠席）
　　利用者代理人　当施設利用者後見人様
　　利用者家族代表　家族会会長
　　嵐山四季の家　施設長　サービス管理責任者

１，開会・挨拶
・施設長より挨拶

２，参加者の紹介
・各自、自己紹介をしていただく。

３，施設見学
・施設内を見学していただく。

４，会議の目的説明
○利用者と地域との関係づくり　○地域住民への施設及び利用者に関する理解促進
○施設およびサービスの透明性と質の確保　○利用者の権利擁護

５，嵐山四季の家について
（１）利用者の障害について
・資料を元に説明する。

（２）利用者の日常生活について
・資料を元に説明する。
・１日のながれが決まっていることで安心して暮らせるようになっている。
・コロナ感染対策も終わり、現在は帰省も始まっている。帰れるうちは帰ってほしいと思っている。

（3）経営状況の説明
・資料を元に説明。
・短期入所からの入所者が増えてきている。
・欠員がでるとマイナスになってしまう。

（4）BCP（業務継続計画）の説明
・資料を元に説明。

（5）虐待、事故、ヒヤリハットの報告
・事故報告書、対策報告書式を元に説明。
・毎月、職員会議で報告して、共有している。
・骨折などは県に報告している。
・虐待防止研修で、障害の知識なども伝えるようにしている。

6，質疑応答・意見交換
・てんかんのヘッドギアをつけている人が少ないように見えた。
→ヘッドギアをつけること自体、難しい人もいる。服薬調整を行うことや、安定した暮らしのなかでてんかんの発作自体を減らす方向で支援していければと思っている。

・短期入所の3床のふりわけは？
→男性は2階だが、女性は1階。男性でも1階で過ごせる人は1階を利用してもらっている。

・入所は決まっている利用者さん達だが、短期入所は様々な事情の人が利用しているのだなという印象を受けた。

・援護地はこの辺の人が多い？
→各地から来ている。さいたま市などからも来ている。

・短期入所の利用はこの辺りから来ている？
→比企地域は多いが、さいたま市などからの利用もある。兄妹で障害があり、一緒に利用したいとのことでさいたま市から来る人もいる。

・嵐山町役場では、災害時の連絡は、専用のソフトを入れて職員間でコミュニケーションをとりやすいようにしている。職員に一斉配信できる。大災害になった時に、誰が何人来られるかなど確認できるようにしている。携帯はつながらなくなると言われている。

→施設内はIPモバイル使用しているが、Wi-Fiなので災害時は使用できなくなるので課題。トランシーバーなどが必要になるかもしれない。一斉送信はできるが、常日頃の訓練は必要。

・一番は地震が予期できない。夏は線状降水帯ができやすい位置に施設があるので、大雨は心配。川が近くにないのでそれは良いと思う。

・他の施設では誤薬が多いと聞いた。誤薬は多い？
→誤薬はある。大量の薬が薬局から届く。看護師が一人ずつセットして、ダブルチェックしている。臨時薬などもでる。薬の飲んだ後の袋を残して、飲み残しがないかもチェックしている。飲んだはずの薬が口から落ちてしまい、後で見つかることもある。

・何人位の職員が働いている？
→厨房、医務など全ての職員だと51名位。支援現場の職員は33名位。新しい日本人の職員は入職していない。技能実習生の受け入れを開始している。

・食前、食後の薬があるが、分けて飲ませているのか。
→薬によっては効果が変化する。てんかん薬は1日の量で良いとドクターから言われている。時間を忘れないように食事の時間が目安になっているものもある。ドクターから必ずと指示がでているものは分けて飲ませるようにしている。

・以前に比べ、車椅子など介護が必要になってきている人が増えてきている。職員の仕事の形態が変化してきているのではないか。職員体制はかわってくるのか。
→動きの激しい方への支援と車椅子などの方も支援の方法が変化してきている。どちらも支援に人数は必要。支援の質が変化してきている印象。トイレよりオムツを使用する利用者が増えた。

・高齢化する利用者はこれからもみていく？
→施設で見られるところまではと思っているが、食事が食べられなくなると、その先の生活の場をどうしていくのか、考えていくこともある。

・後見人をつけている人は多い？
→まだそんなに多くはない。ご家族が健在の場合は、ご家族がみている人が多い。

・四季の家としては最後まで看取るつもりでいる？
→食べられなくなると点滴などが必要になる。そうすると医療が必要になっていく。そうなると、病院に行くことが必然的になる場合も多い。

・他施設では、高齢になり、特養にうつる人が 2 名ほどいると聞いた。四季の家ではどうか？制度もかわる。
→今のところはいない。特養では支援が難しい利用者さんも多い。生活が変化することで負荷がかかる場合もある。

・以前、知的障害の方が特養にうつったが、特養の支援は認知症の方の支援が中心になるのだなと思った。支援の形が違うので、本人が安定した生活が変わって機能低下が起きることもある。支援する職員の見方が変化することも大きいと思った。
→環境は大事。本人たちが 20 年近くたって積み上げてきた生活でもある。

社会福祉法人青い鳥福祉会あおぞら荘

地域連携推進会議報告書

日時　：２０２６（令和８）年　１月１０日（火）
　　１３：３０～１５：１５
場所　：会議　→　あおぞら荘　食堂
　　見学　→　あおぞら荘　あかつきホーム　らんざん荘
出席者：市町村担当者　　→　嵐山町役場福祉課
　　地域関係者　　→　民生委員
　　地域関係者　　→　地域の方
　　福祉・経営に知見のある人
　　※他事業所関係者　→　社会福祉法人いずみ会
　　利用者家族　　→　成年後見人
　　利用者　　→　２名
　　実施者　　→　あおぞら荘施設長
　　あおぞら荘副施設長

＜内容＞

以下は、会議の内容の中から、主な内容をピックアップし、まとめたものである。

		内容	ホームより返答
意見①	BCP（自然災害）について	スマホの充電ができるような発電機があると便利である。	現在、ソーラータイプの発電機を１台購入。 カセットボンベタイプの発電機の購入検討中。 ※金額が高いので、次年度の予算に入れる。
意見②	ヒヤリハット	ヒヤリハットの件数が多いので、事故に対する意識が高いと思われる。	＜会議後に伝えた内容＞ パート職員が多いため、気づきなどは多いが、ヒヤリハット報告書の作成は難しく、日誌に詳細を記載してもらい、それをもとに聞き取りなどを行いヒヤリハット報告書を作成している。
質問①	感染症	感染症対策はどのようにしているのか	新型コロナウイルス流行後、通年で感染症予防対策は実施

			している。 ・手洗い消毒 ・職員のマスクの着用 ・定期的なアルコール消毒 ・距離をとりながらの食事
質問②	高齢の利用者	高齢の方の支援について	介護保険にて訪問リハビリを入れている方が増えている。リハビリは、身体機能の維持と考え始めたが、身体機能の向上をする方が多くいる。
意見③	災害時の移動	災害時、あかつきホームからあおぞら荘まで皆さん歩けるのか	歩ける方は、半数くらいであり、車にて行けるところまで迎えに行く予定であるが、車での迎も時間がかかると考えている。 あかつきホームで待機する時間が長くなると考える。 あかつきホームにて待機できるような災害グッズを今後そろえていく予定である。
意見④	災害時の移動	歩行にて移動する場合、距離が結構あるのでは、ないか。	裏道を使用し、普通にあるくと 15 分くらいで到着する予定であるが、利用者の歩行速度などもあり時間がかかると考えている。
意見⑤	災害時の移動	裏道を歩く際は、塀が倒れていたり、避難時に塀が倒れてきたりして歩けない道もあるのではないか	裏道は使用できない可能性もある。災害については、いろいろな状況を考えていくことが大切である。
意見⑥	災害時の食事	人数が多いと炊き出しなどは大変である。	冷凍弁当をかなりの個数あり。電気がストップしてしまったら、解凍されてしまうので、地域の方に配布することを考えている。

			災害時は、1日2食で考えている。 地域の方の避難の受け入れも希望の方は受け入れ予定である。利用者の見守りなど一緒にしていただけるのではないかと考えている。 災害時に対する準備は、いろいろな想定をもとに今後も準備を進めて行く。
利用者	生活について	ホームの生活や、通所の内容について伝える。	

＜見学＞

・あおぞら荘　らんざん荘　あかつきホームA　あかつきホームBを見学する。